

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 22 日作成)

委員会名	仮設構造計画指針小委員会	主 査 名：宮崎 祐助
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (仮設構造運営委員会)	委員長名：西川 孝夫 主 査 名：室田 達郎
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	山留め、地盤アンカー、型枠支保工など建築施工に係わる仮設構造物の基本思想、設計方針などの道標となるべく指針の作成を目標とする。 2002～3 年；建築工事における仮設構造物の特徴調査 2004～5 年；仮設構造計画指針の作成作業	
委員構成 (委員名(所属))	主査：宮崎祐助(広島工業大学) 幹事：森脇登美夫(大林組) 委員：榎孝洋(ニッソーテクノ)、永富英夫(フジタ)、森岡徹(大林組)、宮森金栄(戸田建設)、柳川裕(建設技術支援協会)、杉原正治(竹中工務店)、池田正基(産業技術総合研究所)、川幡栄治(東亜建設工業)、上長三千長(戸田建設)、竹本信義(フジタ)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2003 年度予算	¥ 176,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003/04/25：10 名、 2003/06/27：10 名、 2003/09/17：9 名、 2003/11/14：6 名、 2004/02/10：11 名、 2004/03/17：10 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) それぞれの仮設構造物固有の特徴を把握することによって、対象とする仮設構造物の選定ができた。また、指針の読者対象を、第 編(施主・設計者)、第 編(施工管理者)とに分けて作成することの可能性を確認できた。 委員会の作業内容は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種仮設構造物の計画と設計の現状調査 ・ 総合的な仮設計画指針の可能性の検討 ・ 仮設構造計画指針の概略構成の検討 ・ 対象仮設構造物の選択と記述内容項目の検討
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 当初の計画通りに進んでいる。
その他評価すべき事項	